放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 11月 27日

公表: 令和 3 年 1 月 26 日

事業所名 メロンのプール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境·体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	4		コの字型になっており、 その形を活用して取り 組み適切に行われてい る	
	2	職員の配置数は適切である	1	3		利用人数に対しては適切に配置されている と思われる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	3		配置されているが完全とは言えない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		適時ミーティングを 実施している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者向け評価を 配布し業務改善に 繋げている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4		ホームページにて 公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		4		第三者に現場に足を運んでいただき、評価 をしていただく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4		在内・外で定期的に 研修を企画し職員の スキルアップに努め	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4		平年に一度の計画 見直しにてアセス メントを適切に行っ ている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4		国が指定したもの を活用する	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		施設会議等で適切 に行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4		週ごとで活動内容 を変えている	
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4		時間帯に応じてプログラムを組んでいる	
な支援	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4		活動企画書を作成 し個々の状況に応 じたものを計画し ている 申し送りを行い報	
の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4		申し送りを行い報告や当日の打ち合わせを行い役割分担している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4		送迎完了後に振り 返り、報告等を 行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		#ロ店 期記録を JT て、それを基に支援 の方向性を決めてい	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		半年に一度モニ タリングを行い支 援に繋げている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4		個々の状況に寄り 添い支援を行って いる	

					ナルまけみ/佐	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4		主に責任者(管理者・主任)が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校・保護者様との 連携を図り予定表・下 校時刻表を確認し、 変更等にも適切に対 応できている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		医療的ケアが必要な児童を受け入れしてい ない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		4		在籍していない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している		4		学校を卒業する年齢の児童が在籍していない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		積極的に研修参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		地域の場所で交流ができるところを探してい く
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4		療育の連絡会で 関わっている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や電話連絡等 で話す機会を設け現 状共有理解に努めて いる	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	3		保護者から要望のある場合、気になる児童 の保護者へは働きかけているが、全利用者 には対応できていない。今後検討していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明を 行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	4		保護者からの要望があれば対応 している。	全利用者には対応できていない。今後検討していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	4		今年は中止と なったが、年1回 開催している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4		担当者が随時対応・対策している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4		施設新聞や翌月 の活動予定カレン ダーを配布してい る	
	35	個人情報に十分注意している	4		保管・職員周知も できている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4		送迎時や電話連 絡等で話す機会を 設けている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		個人情報の保護に配慮しつつ、行えるように 検討する
	_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			·	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	4	フロアへの掲示・ 案内を出して対 応している
		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	4	年2回の避難訓 練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	虐待防止委員会の設置、定期的な研修参加、職員への啓発を 行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	保護者様に状況説明と 同意を頂き、個別支援 計画書に記載とともに 身体拘束に関する記録 も残している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	現在在籍者はいないが 対応表を作成しできる 体制はできている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	4	書式があるので作成し 会議等で各事業所にて 共有している